

14. ひろしまの森づくりの推進

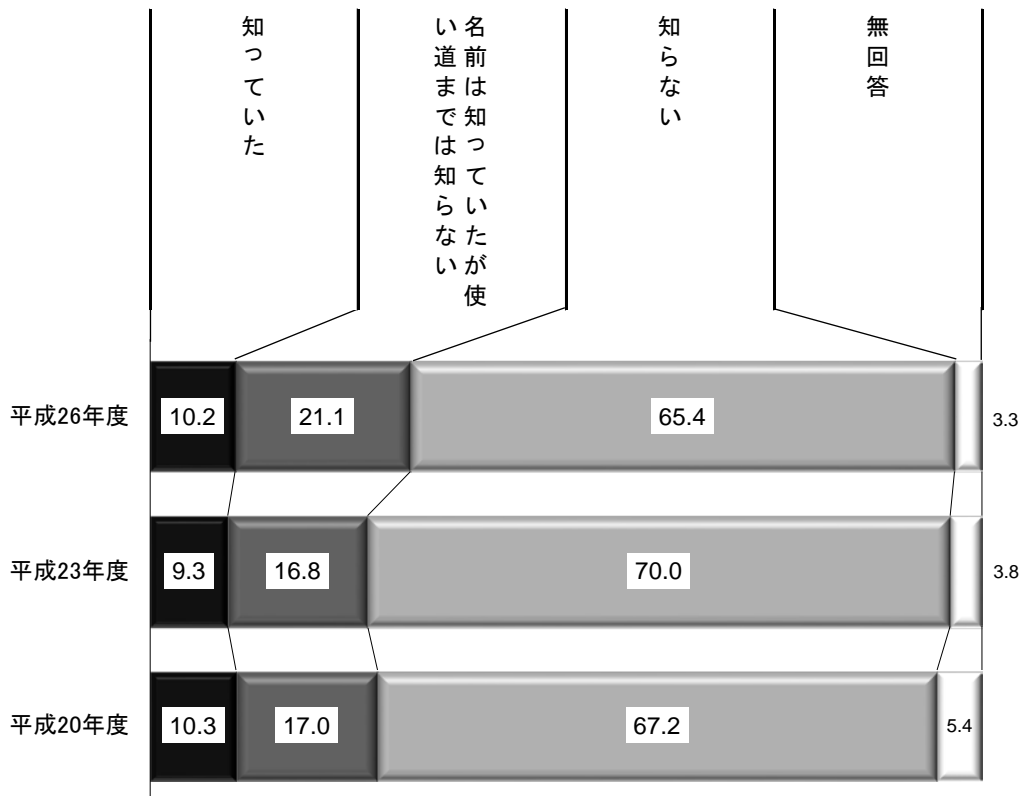
(1) 「ひろしまの森づくり県民税」の認知度

問 46 県では「ひろしまの森づくり県民税」を使って森林の再生に取り組んでいます。この「ひろしまの森づくり県民税」についてご存知ですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

認知度は3割

「知っていた」と回答した割合は 10.2%、「名前は知っていたが使い道までは知らない」(21.1%)を合わせた「認知度」は 31.3%となっている。

前回調査の「認知度」は 26.1%、前々回(平成 20 年)調査の「認知度」は 27.3%と、4ポイント以上上昇している。



(単位: %)

<属性による比較>

【生活圏別】

備北生活圏の「認知度」は 37.6%で、他の2生活圏と比べて6ポイント以上高くなっている。

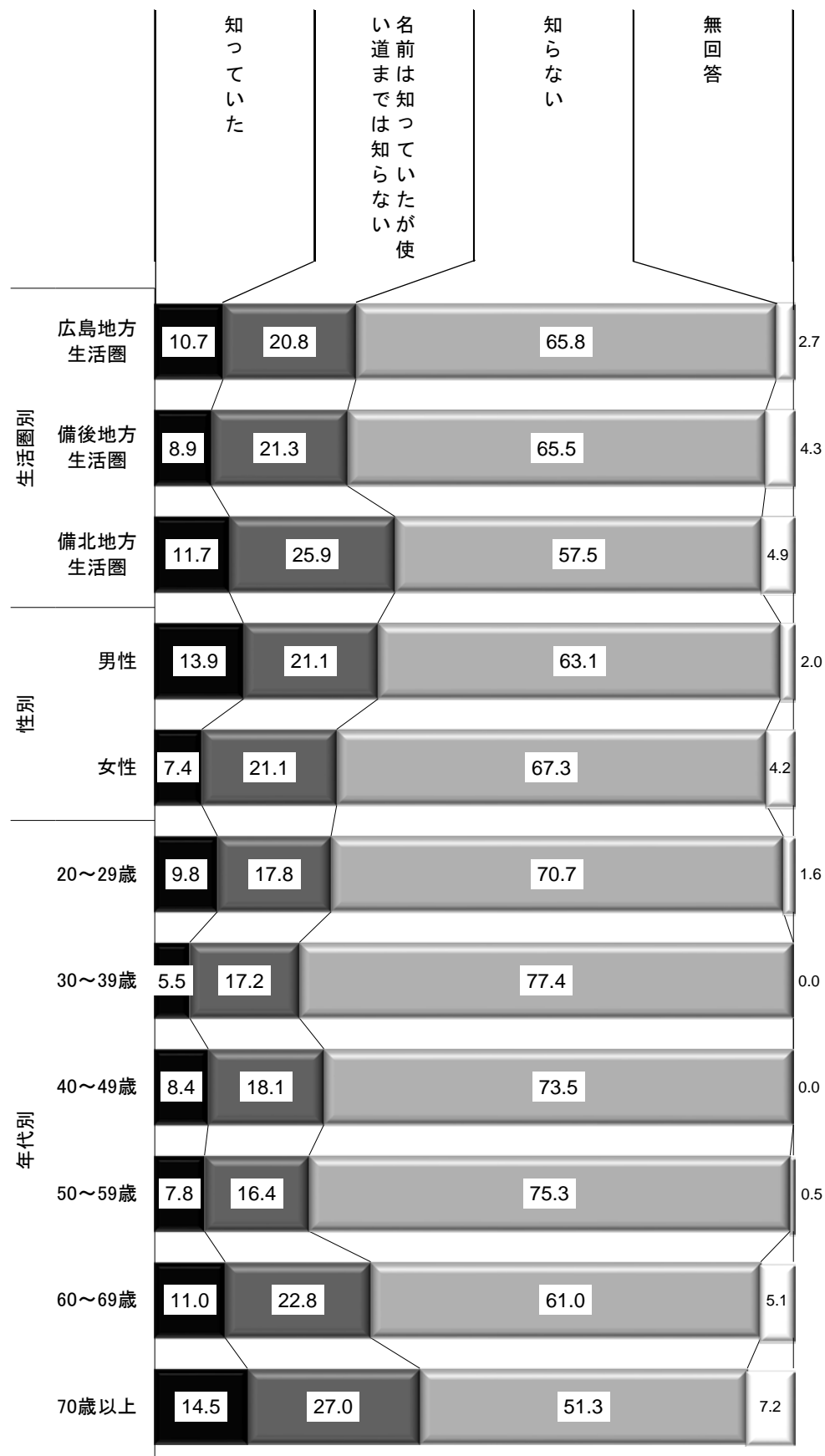
【性別】

男性の「認知度」は 35.0%であり、女性(28.5%)と比べて 6.5 ポイント高い。

【年代別】

70 歳代以上で「認知度」が 41.5%と高く、30 歳代(22.7%)が最も低い。

「ひろしまの森づくり県民税」の認知度(生活圏, 性, 年代別)



(単位: %)

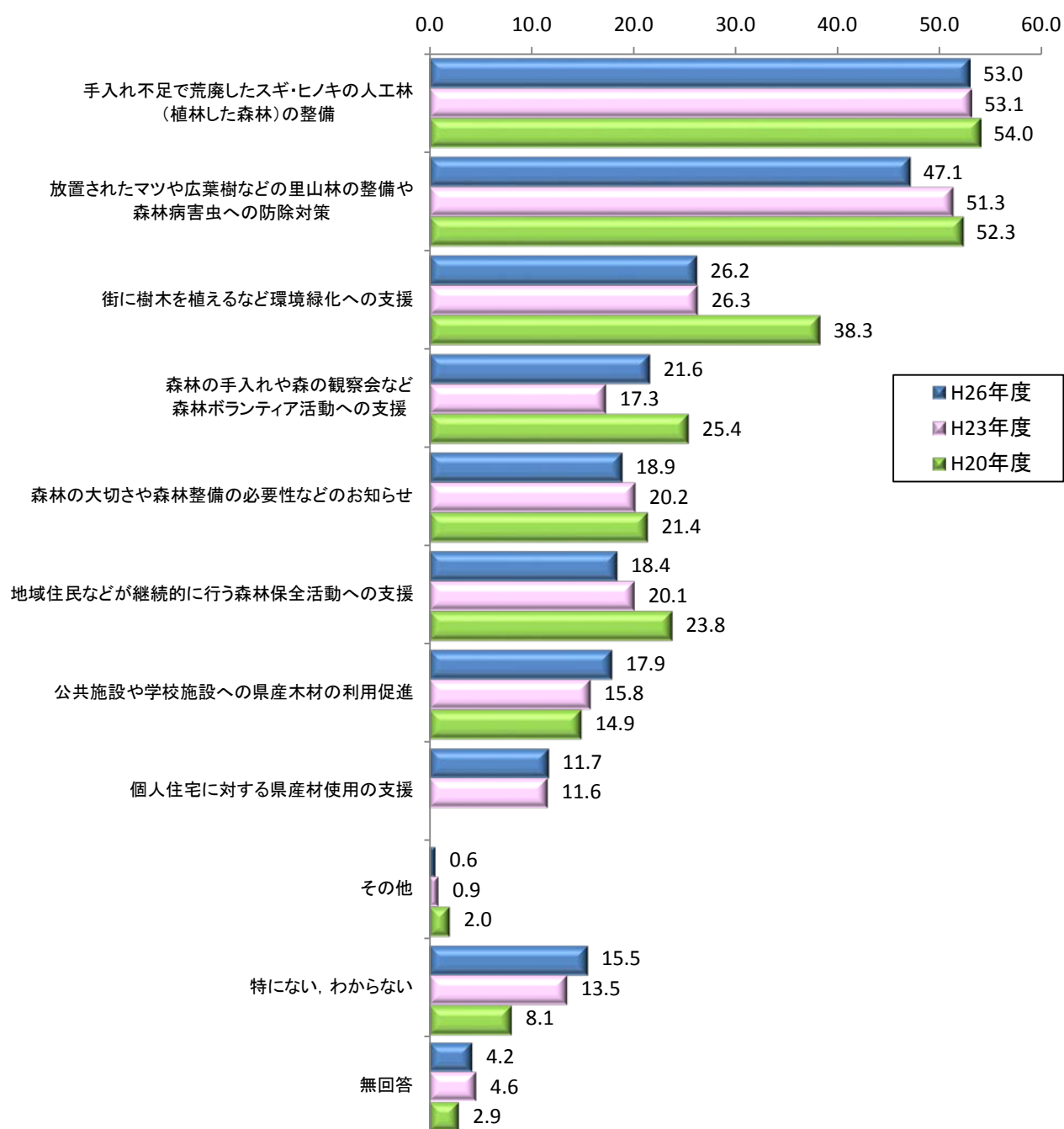
(2) 「ひろしまの森づくり県民税」を使った取り組み

問 47 「ひろしまの森づくり県民税」を使って、次のようなことに取り組んでいます。あなたが、特に力を入れるべきと思うのは何ですか。主なものを3つ以内で選んでください。(M. A.)

人工林・里山林の整備を望む意見が高い

「手入れ不足で荒廃したスギ・ヒノキの人工林の整備」と回答した割合が 53.0%と最も高く、次いで「放置されたマツや広葉樹などの里山林の整備や森林病虫害への防除対策」が 47.1%、「街に樹木を植えるなどの環境緑化への支援」が 26.2%となっている。

前回調査と比較すると、「森林の手入れや森の観察会など森林ボランティア活動への支援」「公共施設や学校施設への県産木材の利用促進」は回答率が増加傾向にある。



(単位: %)

＜属性による比較＞

【生活圏別】

「手入れ不足で荒廃したスギ・ヒノキの人工林の整備」は備北生活圏が 61.1%と、他の2生活圏と比べて7ポイント以上高くなっている。

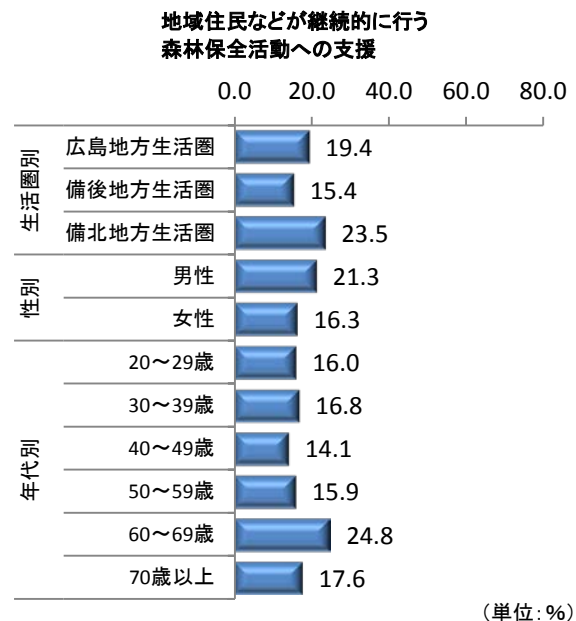
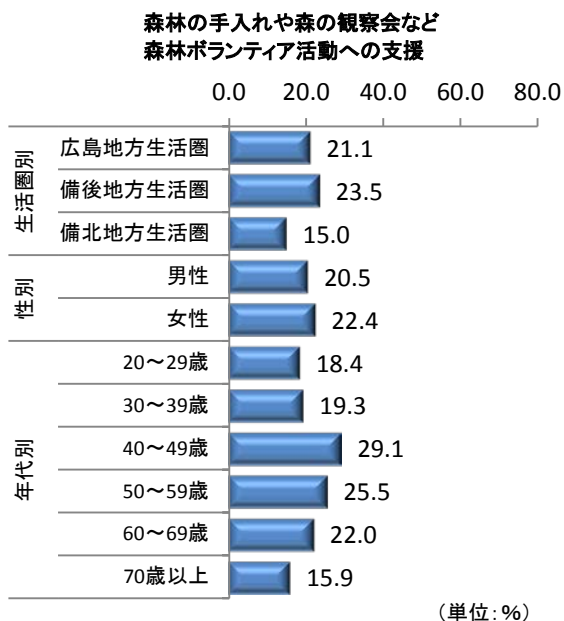
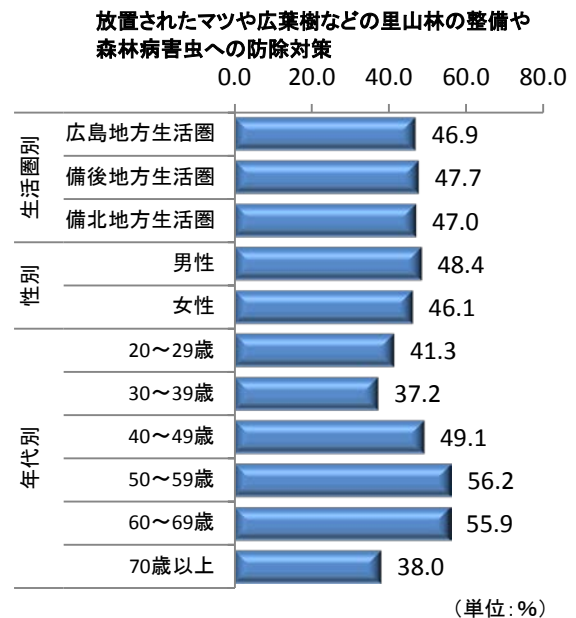
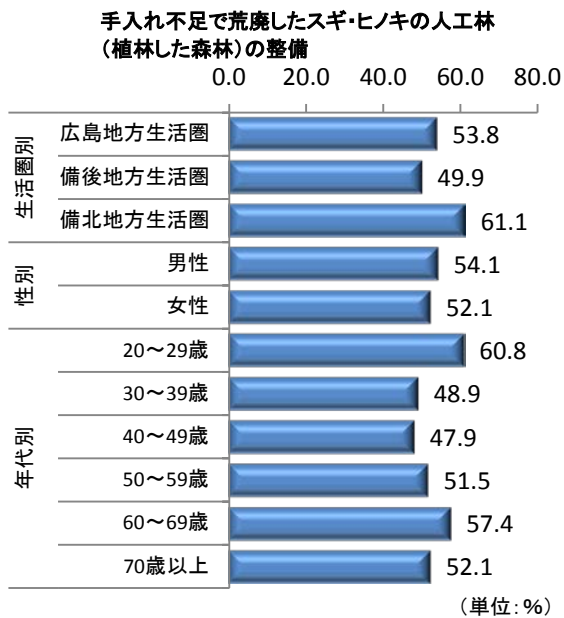
【性別】

「地域住民などが継続的に行う森林保全活動への支援」は男性が 21.3%と、女性(16.3%)と比べて5.0ポイント高い。

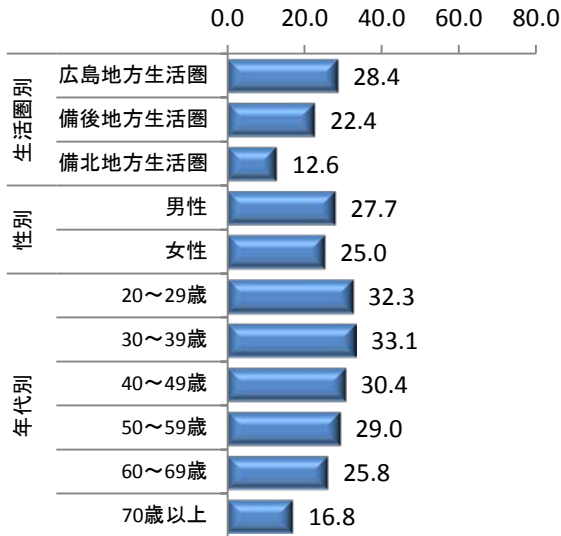
【年代別】

「手入れ不足で荒廃したスギ・ヒノキの人工林の整備」は 30～40 歳代で半数を割っている。「放置されたマツや広葉樹などの里山林の整備や森林病害虫への防除対策」は 50～60 歳代で半数を超え、他の年代と比べて高くなっている。「街に樹木を植えるなど環境緑化への支援」は若年層の方が回答率が高い。

「ひろしまの森づくり県民税」を使った取り組み(生活圏, 性, 年代別)

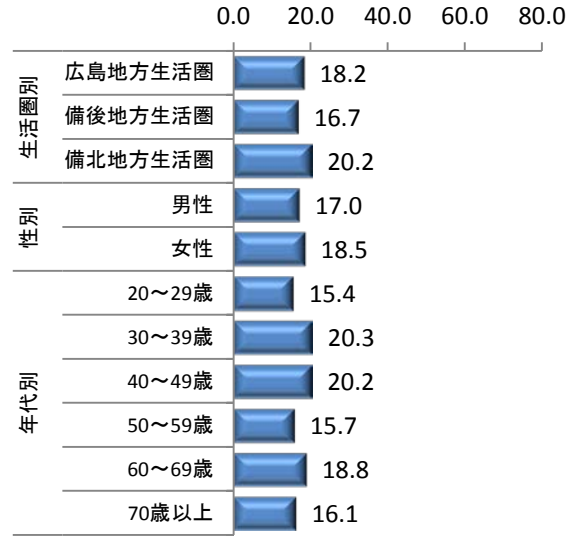


街に樹木を植えるなど環境緑化への支援



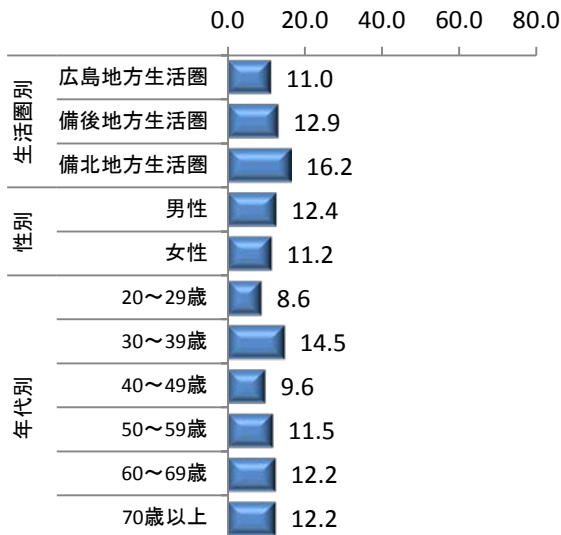
(単位: %)

公共施設や学校施設への県産木材の利用促進



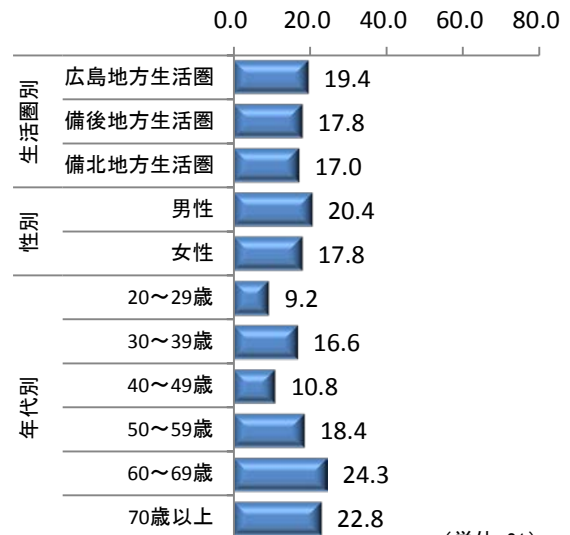
(単位: %)

個人住宅に対する県産材使用の支援



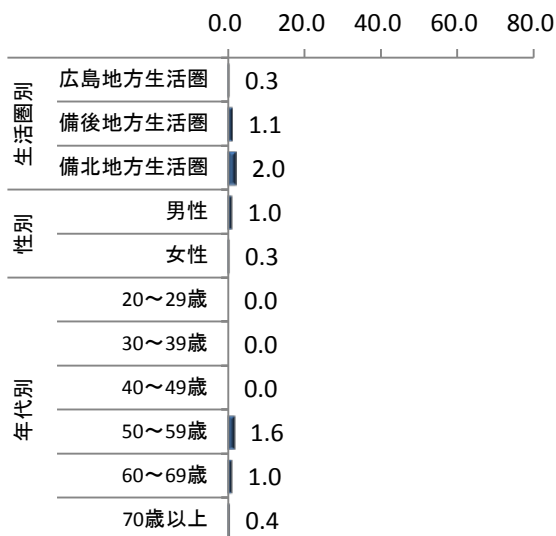
(単位: %)

森林の大切さや森林整備の必要性などのお知らせ



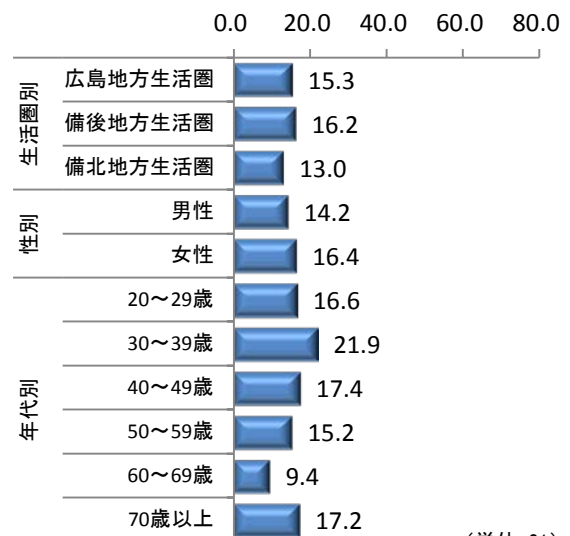
(単位: %)

その他



(単位: %)

特にない, わからない



(単位: %)